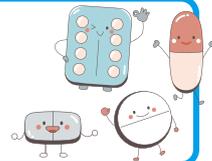


## 医療費の節約に!

# ジェネリック医薬品を使ってみましょう



### 安くても効き目は確かな「ジェネリック医薬品」

新薬(先発医薬品)の特許期間が切れた後、同じ有効成分を使ったジェネリック医薬品(後発医薬品)が製造・販売されるようになります。厚生労働省が定める品質基準をクリアして承認を受けているので、品質はもちろん、効き目や安全性も新薬と同等ですが、新薬に比べて開発にかかる期間や費用が少ないため、価格が安くなります。

### 1日1錠1年間服用した場合

病名	先発医薬品	ジェネリック医薬品	差額
高血圧症	6,636円	1,719円	4,917円
脂質異常症	17,630円	8,574円	9,056円
糖尿病	5,541円	2,048円	3,493円

※上記金額は薬代のみを3割負担で計算した参考値です(小数点第1位を四捨五入)。  
※2024年4月現在の薬価をもとに算出しています。

ジェネリック医薬品には、服用しやすいように大きさや味・香りなどを改良したものもあります。

錠剤を小さくして飲みやすくしたり、ゼリー状や液体に



文字や色で飲み間違いを防ぐ

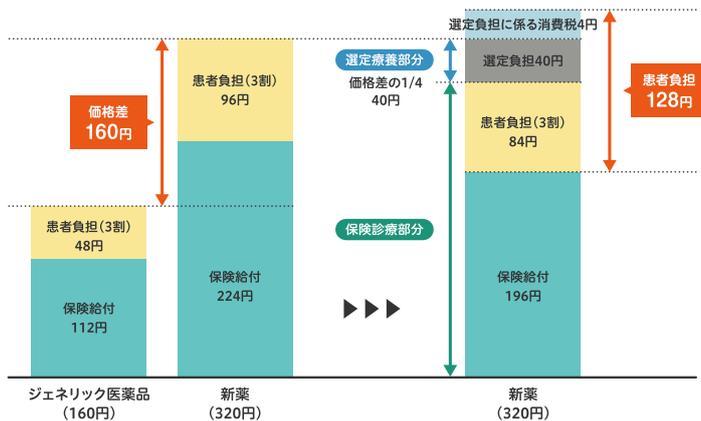


コーティングなどで苦みを少なく



## 2024年10月から 新薬(先発医薬品)を選ぶと 自己負担額がアップします

2024年10月から処方薬にジェネリック医薬品がある場合に、医療上の必要性がないにもかかわらず患者が新薬を選択したときは、ジェネリック医薬品と新薬との差額の4分の1を患者が全額自己負担する選定療養の仕組みが導入されることになりました。なお、この自己負担額には、医療給付ではないため消費税(10%)が加算されます。



## より新薬(先発医薬品)に近いAG(オーソライズド・ジェネリック)

新薬の製薬会社から特許使用の許諾(オーソライズド)を得て、有効成分はもちろん、原料となる薬、添加物、製造方法などほとんどすべてを新薬と同一にして製造するジェネリック医薬品のことです。金額も一般のジェネリック医薬品と同様に安く設定されています。薬局で「AG(エージー)はありますか?」と相談してみましょう。

## 当健保組合ではジェネリック医薬品差額通知を発行しています

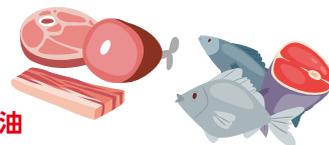
当健保組合では、医師の処方により薬を購入された方で、ジェネリック医薬品に切り替えることで500円以上の差額が出る場合、ジェネリック医薬品差額通知を3カ月ごとに年4回、個人別にご自宅へ送付しています。

ジェネリック医薬品に切り替えるといくら節約できるかが、医薬品ごとに分かるようになっていました。薬代を節約することは、ご自身だけでなく、当健保組合の財政負担の削減にもつながりますので、この機会にジェネリック医薬品に切り替えてみましょう。

問題

## LDLコレステロール値を下げるために 摂った方がよいのは 肉の脂 ? 魚の油 ?

答え: 魚の油



血液中の主な脂質として、LDL(悪玉)コレステロール、HDL(善玉)コレステロール、中性脂肪の3つが挙げられます。LDLコレステロールは身体の組織に脂質を届けて、エネルギーや細胞の再生などに使えるように働きます。一方、HDLコレステロールは組織に蓄積したコレステロールを回収する働きをしています。中性脂肪は人体のエネルギー源のひとつで、皮下脂肪などとして蓄積され、体温を保持したり、内臓の保持や衝撃から保護する働きもあります。動脈硬化の最大のリスクとなる脂質異常症は、血液中のLDLコレステロールや中性脂肪が必要以上に多いか、またはHDLコレステロールが少ない状態です。この3つのうち、最も動脈硬化を進めるのがLDLコレステロールの高値です。

LDLコレステロールや中性脂肪が増加すると、血管壁の間に潜り込みやすくなります。すると、ドロドロした塊(プラーク)を形成し、血液の通る隙間を狭めます。必要な酸素や栄養素が届かなくなるばかりか、進行するとプラークの表面が破け、血栓となって血管を塞ぎ、心筋梗塞や脳梗塞の原因になります。健診で数値の悪化がみられた人は早めに対策しましょう。

詳しくは  
WEBで

